

# 2009年度「海の文化遺産総合調査プロジェクト」調査報告会 第3回シンポジウム「水中文化遺産と考古学」 「水中文化遺産を理解する」

特定非営利活動法人アジア水中考古学研究所（略称：ARIUA）は、「水中文化遺産」を調査・保護し、わが国の「水中考古学」の発展やその普及を目的に活動している団体です。

これまで、おもに九州地域で「水中文化遺産」の調査にたずさわり、その成果をもとにした報告会・シンポジウムの開催や研究誌の刊行を行い、情報発信に努めてきました。研究所では、今年度から日本財団の助成で全国を対象とした「水中文化遺産」および「水中考古学」に関するプロジェクト「海の文化遺産総合調査プロジェクト」を立ち上げることとなりました。このプロジェクトは、わが国の水中文化遺産の周知と水中考古学の発展を図り、次代を担う人材が育成される環境整備も目指します。

このような全国を網羅する総合的なプロジェクトは国内では初めてのことです。

今回の報告会・シンポジウムは、この「プロジェクト」

成果をより多くの方に知っていただくとともに、「水中文化遺産」・「水中考古学」についての理解を広めることを目的に開催するものです。

第1部では、このプロジェクトにともなう各海域での調査のようすと成果についての報告をします。普段はあまり見る機会のない「水中文化遺産」の実態や水中での調査のようすと触れることができることと思います。

第2部では、実際にこの分野に携わっている方々をお招きして「水中文化遺産」とそれを研究する「水中考古学」の現状と課題について考えるシンポジウムをおこないます。特別講演として、この分野にご関心の深い作家の中山千夏さんにご講演いただきます。

一日がかりの報告会・シンポジウムとなりますが、この機会に「水中文化遺産」への理解を深めていただけましたら幸いです。

## プログラム

【第1部】（午前）10:30～12:30

### 2009年度「海の文化遺産総合調査プロジェクト」調査報告会

1. アジア水中考古学研究所（ARIUA）とプロジェクトの紹介
2. 調査報告
  - 南 西 諸 島：片桐千亜紀（ARIUA 会員 沖縄県立埋蔵文化財センター）
  - 九 州：野上建紀（ARIUA 副理事長 有田町歴史民俗資料館）
  - 瀬戸内・琵琶湖：吉崎伸（水中考古学研究所理事長）
  - 日 本 海 域：小川光彦（ARIUA 会員 金沢大学大学院博士課程）

【第2部】（午後）13:20～17:00

### 第3回シンポジウム「水中文化遺産と考古学」—水中文化遺産を理解する—

【特別講演】「水中考古学と私」 中山千夏（作家）

【基調報告】

1. 「水中文化遺産と水中考古学」：岩淵聡文（東京海洋大学教授）
2. 「海洋考古学の調査・研究の実例」：Randall J.Sasaki（ARIUA 会員 テキサス A&M 大学海事考古学研究所）
3. 「水中文化遺産と国際法 —日本国内法制への示唆—」：中田達也（文教大学講師）
4. 「身近にある水中文化遺産を巡る」：林原利明（ARIUA 理事 西相文化財研究所）

【討 論】

コーディネーター 塩屋勝利（ARIUA 理事）

※休憩時間には、山本祐司氏（ARIUA 会員 プロフォトグラファー）による水中文化遺産の写真上映をおこないます。

- この分野に関心をお持ちの方、学ぼうとしている方のご参加をお待ちしております。



日本財団ビル 1階パウルーム 東京都港区赤坂1丁目2番2号

\*最寄り駅からのご案内\*

- 銀座線「虎ノ門駅」3番出口より徒歩5分
- 南北線「溜池山王駅」9番出口より徒歩5分
- 千代田線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩6分

お問い合わせ先



特定非営利活動法人 アジア水中考古学研究所

Asian Research Institute of Underwater Archaeology

〒812-0041 福岡県福岡市吉塚6-10-12-308

tel & fax 092-611-4404

E-mail kosuwa@f4.dion.ne.jp http://www.ariua.org/